



平成 29 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 日産車体株式会社
代表者名 取締役社長 木村 昌平
(コード番号 7222)
問合せ先責任者 常務執行役員 牛込 正明
(TEL. 0463-21-8001)
当社の親会社 日産自動車株式会社
(コード番号 7201)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結決算において、特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 11 日公表の平成 30 年 3 月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、本年 9 月国土交通省の指摘により、車両製造の最終工程となっている完成検査工程において不適切な取扱いが判明し、日産自動車株式会社がリコールの届出を実施しました。これに伴い、当社製造のリコール対象車種に係る再点検費用を現在入手可能な事実と状況に基づき見積り、その費用 45 億円を特別損失に計上いたしました。なお、当該見積額は日産自動車株式会社との協議を経て最終的に確定するものであります。

2. 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 670,000	百万円 14,000	百万円 14,500	百万円 9,600	円 銭 64.90
今 回 発 表 予 想 (B)	640,000	12,500	13,100	5,400	38.50
増 減 額 (B-A)	△30,000	△1,500	△1,400	△4,200	
増 減 率 (%)	△4.5	△10.7	△9.7	△43.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	565,822	12,195	12,709	8,223	55.59

(修正の理由)

上記 1. に記載のとおり特別損失を計上したことに加えて、中近東向けの Y61 パトロールを中心とした輸出向け台数の大幅減少などによる売上高の減少が見込まれるため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を下回る見込みであります。このような状況を受けて、平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上